

## 「好酸球の気道浸潤を伴う呼吸器疾患における炎症細胞の機能解析」に関する研究

この研究はすでに研究中の 2982（承認日：平成 30 年 10 月 11 日）について、今回、申請者氏名の変更、研究期間の延長がありましたので、お知らせいたします。研究責任者は宮田 純から君塚善文へ変更となりました。

### 1. 研究の対象

すでに研究中の 2982（承認日：平成 30 年 10 月 11 日）において、同意を頂いている方が対象です。

### 2. 研究目的・方法・期間

当研究室では、気管支喘息に代表される慢性炎症性疾患の病態を解明することを目標としております。末梢血由来の細胞を用いて、治療や診断に応用可能である分子を同定し、検証することが本研究の目的です。

研究の方法：気管支肺胞洗浄液、末梢血より白血球を単離し、実験に用います。細胞機能評価については、単離した白血球を用いて細胞遊走、活性酸素産生、炎症性メディエーターや細胞障害性因子の放出などを指標に解析を行います。細胞上清や血漿は炎症性メディエーターや細胞障害性因子の濃度を測定する目的で使用します。気管支肺胞洗浄液は診療において必要な場合にのみ施行する気管支鏡検査にて、通常の検査業務と並行して採取します。気道の細胞と血液中の細胞の特徴を比較するために、同意を頂いた方から末梢血 10mL から 20mL を提供して頂くこともあります。血液採取は病室や外来の採血室にて行います。多種類の血球の機能を解析する場合には、1 回の試料採取では足りない場合があるため、一人の方に複数回の試料提供をお願いする場合があります。

これらの解析は防衛医科大学校の内科学講座（感染症・呼吸器）の研究室で行います。

研究の期間：学校長承認後から令和 9 年（2027 年）3 月 31 日までです。

### 3. 研究に用いる試料・情報の種類

この研究で使用するのは皆さんの診療記録からの情報、気管支鏡検査で生じたから気管支肺胞洗浄液、採血した血液です。

### 4. 研究に用いる試料・情報の管理についての責任者

個人情報の管理者は研究責任者である君塚善文です。

### 5. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて研究に患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でもみなさんに不利益が生じることはありません。

#### 連絡先

防衛医科大学校 内科学講座（感染症・呼吸器）

講師 君塚善文（研究責任者）

埼玉県所沢市並木 3-2 電話番号 04-2995-1511 内線 2762